

中 志高く 特別号

令和5年11月10日

【独立自尊・共存共栄】
自ら考え学び続ける生徒
心豊かで思いやりのある生徒
体を鍛えやり抜く生徒

渋沢栄一翁 没後92年 過去の偉人？ いいえ未来でも偉人です

齊藤 寛

11月11日は、栄一翁の命日

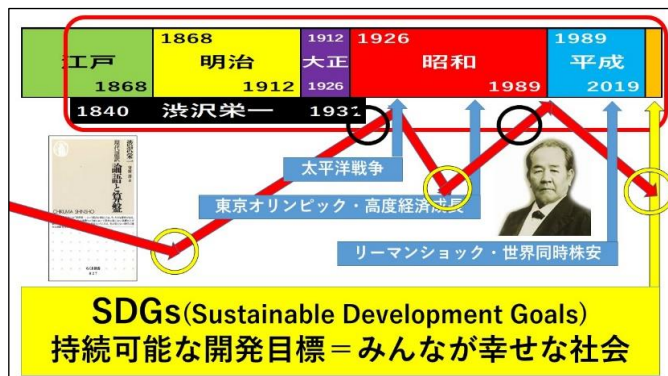
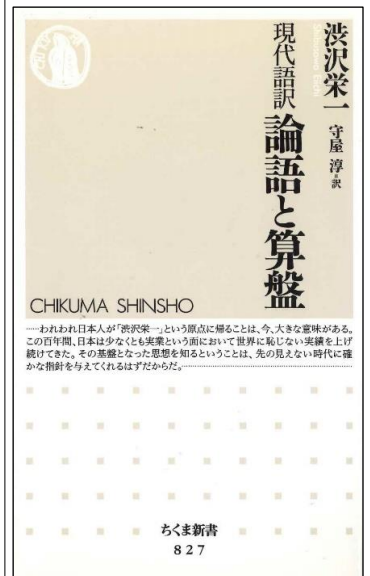
～未来を生きる君たちに、栄一翁が託した思いとは～

生徒の皆さんは、小学校時代から「郷土の偉人 渋沢栄一翁」について、様々な学習や体験をしてきたことと思います。

そこで、未来を生きる皆さんには、あらためて栄一翁の業績や栄一翁が大切に「立志の精神と忠恕の心」を、皆さん自身の現在、そして未来と関連づけて考えて欲しいと思っています。

ところで栄一翁は、究極の未来志向であったと言われていています。どんなに苦しく困難な状況に置かれようとも、「今よりもっと良い社会を作る。」という強い意志が、栄一翁が残した言葉から伝わってくるからです。

同時に、栄一翁は、私たち一人一人に「人間としての在り方や生き方」を語っています。「立志と忠恕」はその代表的な言葉であると言えます。「みんなが幸せな社会」を実現するために、栄一翁が私たちに託した思いとは何でしょうか。右に示した「論語と算盤」には、そんな栄一翁の思いがたくさん込められています。多少難しい表現はありますが、未来を生きる皆さんにはぜひ読んで欲しい1冊です。



士魂商才



夢七訓 渋沢栄一

夢なき者は理想なし
理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし
成果なき者は幸福なし
故に
幸福を求めぬ者は
夢なきもべからず

さきま抄 郷土の偉人、渋沢栄一翁が主人公だからもあるが、今年NHK大河ドラマ「青天を衝け」は切り口が面白い。激動期の流れを現代にも通じる庶民の視点で描いているからだ▼幕末、維新の時代劇といえば薩長中心が定番だが、農民から志士、幕臣、官僚へと転身した渋沢を通して敗者の視点も加味。ドラマとはいえず、歴史の奥深さを教えてくれる。これから実業家へと進む姿をどう描くか楽しみだ▼大河とは別に「日本近代経済の父」と称される渋沢が説いた「論語と算盤(道徳と経済の両立)」の精神が今、改めて注目されている。資本主義の在り方が問われる中、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に通じる▼渋沢は資本主義という言葉は使わず、倫理と利潤を調和させながら、公益を追求する合本主義を唱えたという。目指したのは利益追求一辺倒ではなく、公益重視の信用で回す経済システムの構築だ▼企業は株主のみならず、社員や取引先、顧客の利益も重視しなければならぬ。同時に環境問題や社会課題への配慮も必要。経済格差が拡大する中、渋沢の理念は現代の要請にかなっている▼岸田首相はきょう衆院を解散し、衆院選を10日公示、31日投票で行う方針だ。与野党とも経済政策の転換を主張。格差を是正し、成長と分配をどう両立させるのか。「新しい資本主義」を目指すの重要は選挙となる。

2021・10・14

上に紹介した新聞記事は、令和3年10月14日の埼玉新聞からとったものです。今日の全校朝会のお話を考える上でのヒントになった資料です。ぜひ読んでみてください。

2学期の表彰から

【野球部】第16回嘉津行杯 第3位

【令和5年度埼玉県バレーボール優秀選手】

山岸 結生 深澤 克之 井田 大翔

【JOCジュニアオリンピックカップ 第37回全国都道府県対抗中学校バレーボール大会】

選抜選手 井田 大翔

【吹奏楽部】第29回西関東マーチングコンテスト 中学校Aの部 銀賞

【令和5年度大里地区中学校駅伝競走大会】

女子の部 深谷市第3位 (鈴木 理紗 山口 羽里華 織田 真帆 田那部 湊 萩原 幸保)
オープンの部 深谷市第2位 大澤 周世

【第69回青少年読書感想文コンクール】

入選 高橋 凜子 茂呂 麻央 田中 良侑 佐藤 真菜 岡田 芽緯 持田 紗知
石井 美梨花 木村 琉愛 下川 洸聖 荒張 優菜 竹淵 音羽 小松 美結
清水 優希 小暮 月望

【令和5年度人権作文】入選 高田 汐梨 田島 杏 鈴木 理紗

【令和5年度深谷市科学展】入賞 堀口 智永 中島 直太郎 高橋 莉希 青木 芽愛

【令和5年度深谷市発明創意くふう展】金賞 萩原 大雄 茂呂 麻央

【令和5年度大里地区児童生徒発明創意くふう展】※ 深谷市発明創意くふう展 金賞を兼ねる
金賞 高田 舞 塚原 陽向 深澤 克之 荒木 栞里
古澤 実佳 木村 比美徠 森 澄和

【身体障害者福祉のための第65回埼玉県児童生徒美術展(大里地区展)】

特選 今井 貫太

入選 小暮 夢衣 関口 百夏 田中 良侑
芦澤 葵乙 岡田 芽緯 大坪 航雅 石井 美梨花 林 沙穂里
金井 環姫 竹淵 音羽 村田 龍聖 植松 美妃 細野 菜穂



【第58回郷土を描く児童生徒美術展】

特選 田中 良侑

入選 宮阪 蒼史 高橋 凜子 芦澤 葵乙 山田 翔太 木村 琉愛 今井 貫太
清水 優希 高橋 弥央 民谷 優凷

【第61回埼玉県硬筆展中央展覧会】

優良賞 佐藤 真菜 巴 柚奈 三好 芳佳

【ジュニアリーダー表彰】山口 羽里華

Congratulations!



1年1組	木村 武尊	小暮 夢衣
1年2組	本道 琉生	濱川 柚葵
1年3組	風間 俊輝	安部 莉玖
2年1組	志村 颯太	岡田 芽緯
2年2組	森 亮次朗	鎌田 桜耶
2年3組	竹内 悠翔	田島 杏
2年4組	木村比美徠	木村 琉愛
3年1組	深澤 克之	川田 凜華
3年2組	高橋 快成	高田 結希菜
3年3組	清水 優希	佐藤 聖栄
3年4組	茂木 陽人	泉 沙瑛
6組	倉持 美里	
7・8組	大泉 仁樹	
	下川 洸聖	

後期
学級委員

10月30日 校内音楽会



平成5年以来、およそ30年ぶりの体育館での校内音楽会でしたが、子供たちの美しくも力強い歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。曲作りの中で紡いだそれぞれの物語と一緒に、青春のMy Songを見事に歌い上げました。

